



# 学会通信

第4号 2023年10月18日発行

## 第1回聖隷国際教育学会 盛会裏に打ち上げ

聖隷国際教育学会初めての年次大会を盛会裏に開催できたこと、心から感謝申し上げます。卒業生をはじめとして様々な立場のみなさんの口頭発表や、午後のシンポジウムなど充実した1日を過ごすことができました。

この年次大会では、国際バカロレア教育や市民立小中一貫校の活動など貴重な実践や知見が共有されました。新たな挑戦と情熱・専門知識に触れることで、一層の学びを得ることができました。また、シンポジウムでは「誰一人取り残さない保育・教育」という重要なテーマについて、様々な立場からご意見・ご提案をされました。共に考え、共に行動することの大切さを改めて認識し、より包括的で公正な教育を実現するために、一層の努力を重ねてまいりたいと思います。その他、卒業生交流会やティーパーティー、ノルカル東京のミニライブといった交流の場も設けられ、楽しいひとときを過ごせました。

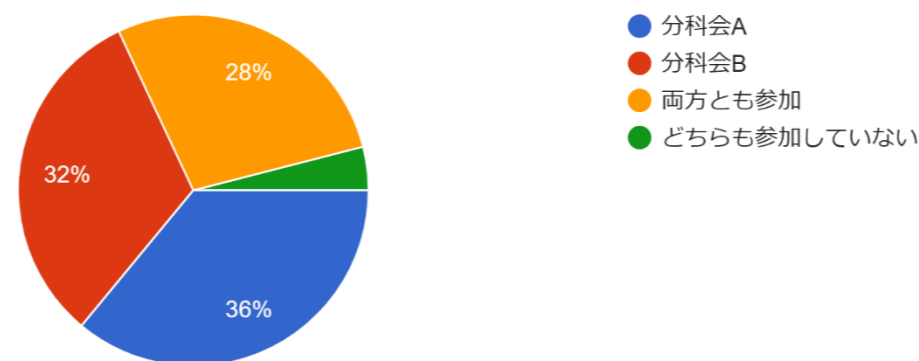
会長として、この素晴らしい年次大会を振り返り、ご参加いただいた皆様に心からの感謝の意を表します。これからも聖隷国際教育学会は、教育の向上と人々の成長を支える大切な役割を果たしてまいります。最後になりますが、この年次大会の成功を支えてくださいましたみなさまにも心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(会長 鈴木光男)

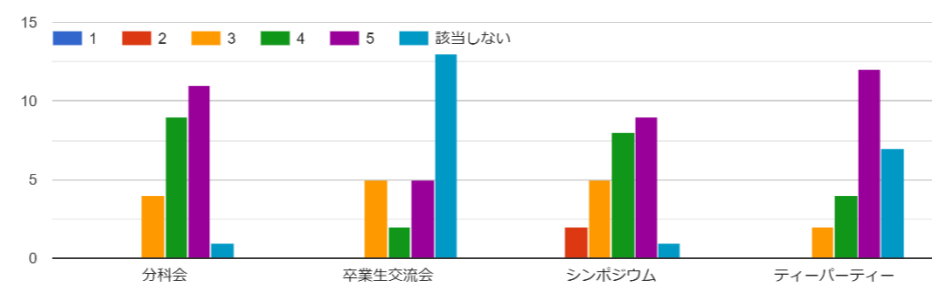
# 大会アンケート 結果

第1回の学会年次大会のアンケート結果を以下にまとめます。参加者総数49名のうち25名の方から回答がありました。ご回答いただいた内容を今後の学会運営の参考にさせていただきます。ありがとうございました。  
全てのご回答、ご意見を下に掲載させていただきます。

### 参加された分科会



### 参加満足度 1 = 非常に不満 5 = 非常に満足



### 分科会に寄せられた意見

- 初めて聞く実践発表や、先生になって間もない先生方の発表など、とても興味深い内容のものが多くありました。分科会で分かれたので仕方ないですが、全部の発表をお聞きしたかったです。
- 分科会で話されたことはどれももっと時間をかけてうかがいたい興味深いものでした。
- 特色ある教育実践を具体的に知ることができました。併せて、発表テーマについての考えを深めることができましたから。
- 発表者と受講者の対話が発生するようにファシリテーションする方が1人いると良いと思いました。
- 非常に幅広い視点から、教育について考える機会をいただきました。大学、こども園、小学校をはじめ、市民立小中一貫校、元民間企業の方、元教育委員会の方といった幅広い視点からのお話を伺うことで、分科会とシンポジウムでのお話そ

- れぞれの意義をより深く考えることができました。
- 分科会が小・保幼に分かれているのがよかった。
- 両分科会共に参加したかった。両方の発表に非常に興味があった。動画を後日見られるようにするとか今後の対応を期待したい。
- さまざまな人が、それぞれの立場から実践していること、考えていることを、それぞれの言葉で表現して語っていたので…。
- 様々な小学校からの実践例を学び、新しいアイデアやアプローチを知ることができました。
- 卒業生などの現場からの発表がとてもよかった。
- 両方の分科会に参加したいくらいでした。知らなかった取り組みや実践、また卒業生の発表など多彩でとても興味深かったです。

### 卒業生交流会に寄せられた意見

- 卒業生交流会が組み込まれている学会は初めてで、とてもよい趣向だと思いました。
- 卒業生交流会には在校生も参加して欲しかった。

### シンポジウムに寄せられた意見

- 最新の知見が知れた
- 3本の話提供の切り口がそれぞれ興味深かったから
- さまざまな角度からいろいろな知識を得ることができました。
- 各分野で活躍されている方からの見解や研究など様々な意見が聞けた。
- 内容が非常に良かった。大変勉強になった。時間に制限があり、少しずつ延びたため後ろの方ほど苦しくなっていたところが申し訳なく思った。
- 浜松市のいじめや不登校の現状など様々な課題に立ってどのようにすることがよいのかを知りたかったです。一般的なギガスクールなどの話はもう分かっていることでしたので、今の現場に即した具体的で専門的なお話をうかがいたかったです。
- シンポジウムのゲストの講演内容は、学会の趣旨から離れていたように感じました。また、シンポジウムのゲストのお話はどれも、講演者本人にとっては新しいかも知れませんが、教育の専門家にとっては既知の話だったように思います。
- 期待したほど参考にはなりませんでしたが、シンポジウムの内容があまり深く掘り下げられておらず、国際教育の専門家からの洞察が不足していたためです。より専門的かつ実践的な情報を期待していましたが、それには満たされなかったと感じました。

### ティーパーティーに寄せられた意見

- 素晴らしい音楽を聞くことができ良かったです。音楽ありのティーパーティーは続けて欲しいと思いました。
- 運営の皆様のおかげで、交流を図ることもでき、楽しい1日でした。
- ティーパーティー(ランチ時のドリンク提供含む)の際の、フードが豪華であった。
- 他の参加者と交流し、新しいつながりを築く機会(良い雰囲気)となりました。
- 交流会やティーパーティーで現場の声を聴くことができ、有意義であった。



## ■全体に対して寄せられた意見

- 学会の精神の、多様性と同時にそれぞれを認めて包摂していたところが、理論だけでなく垣間見えた
- とても充実した一日でした。
- これからの発展が見える有意義な学会の内容であった
- とても柔らかく楽しい雰囲気の学会でした。今後もこんな会を小まめに開催されることを期待します。
- スタッフの皆さんが笑顔で対応してくださり安心して参加できた。
- 運営の皆さま、裏方の皆さまがとても丁寧だったことが印象的です。快適な時間を過ごせました。どうもありがとうございます。
- 情報提供及び会の運営をしていただいた会員の皆さまに感謝です。終日にわたるプログラムでお疲れさまでした。
- 和気あいあいと楽しい雰囲気であったのが良かった。発表者との対話が活発に出るようにファシリテーション役の方がいると対話が積み重なり相互に更に深まる会になるのではないかと思います。
- 少ない時間の中で伝えるスキルも必要だと感じました。
- 当日はお世話になりありがとうございました。学術的な学びや交流の時間と、参加者同士の和やかな交流の時間とが交互に組まれており、和やかな雰囲気の中にも刺激や学びのあふれる体験をさせていただきました。
- 学園のつながりや、IB について共通の学びがあり有効だったと思いました。
- アットホームな雰囲気がとてもよかった。さらにもっと学会員同士の交流ができればうれしい。
- ここ数年、コロナ禍もあり実践を語る場が少なくなっているのも、このような機会があることは大変意義のあることだと思います。今回は、シンポジウムのみ参加になってしまいましたが、交流や意見交換が少しできて楽しかったです。
- もっと多くの人に知らせたいし、多くの人に参加してほしい
- 湯茶の接待が非常にありがたかった。歓迎の気持ちを感じた。
- お忙しい中、研究発表してくださった先生方、また学会の準備を担ってくださった先生方、ありがとうございました。
- たくさん準備をしてくださり、とても有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。また次回の学会があることを心より楽しみにしています。
- 現代の保育教育について同じテーマで様々な角度から語られるシンポジウムにはとても興味深いものがあり、学ぶべきところが多くあった。改めて、保育は閉じられた社会であると感じ、こうした場を通してまずは自分が開いていくことができるようにしていきたいと感じた。
- とても有意義な会だったので、より多くの卒業生や現場の方に参加していただけたらもっと充実したものになると思う。分科会は反対側のグループの発表がきけないのが少し残念だった。
- 和やかな雰囲気で、学会というと敷居が高い気がしていましたが、そのようなことなく楽しく参加できました。
- 学会に参加して、分科会は興味深いものでした。様々な小学校と幼児教育からの実践例を聞くことができ、とても刺激を受けました。特に、IB 校で行われている教

育のアイデアや取り組みを知ることができたことは、有益でした。また、ティーパーティーも楽しく、新しい人と交流する機会として良かったです。チームビルディングのゲームとライブも、学会での初めての経験(雰囲気)で新鮮で楽しかったです。一方で、シンポジウムに関しては、もう少し国際教育の専門的な話が期待されましたが、それほど深い内容ではなかったように感じました。もっと専門的な洞察や研究結果(国際教育の傾向)を聞きたかったと思います。総合的には、学会参加は充実した経験でした。分科会とティーパーティーでは多くの新しいアイデアを得ることができ、チームビルディングのゲームとライブも楽しいひとときでした。シンポジウムの内容がもう少し深化していれば、さらに素晴らしい学会となったかもしれません。

## ■今後の学会活動に期待することや希望など

- 実践交流の会や、国際バカロレア教育、心理に関するセミナーなどをお願いしたいです。
- イマージョン教育について知りたい
- 様々な年齢層への教育に携わるひとびとが集うのはとても良いと感じました。今後の発展を期待しています。
- 今後も、卒業生の実践研究の発表の場になれば、と思いました。ありがとうございました。
- 今後も、様々な学びの機会をいただけたら嬉しいです。
- 様々な背景を持つ方々が多様に集まる学会になることを期待しております。これから対話を積み重ねる事で何かが生み出される会になると良いと思いました。
- 様々な方が研究や施策の発表する場があるのは貴重だと感じました。この発表はどこかにアーカイブなど残していくのでしょうか？幅広い方に見てもらえる方法があると良いと思いました。
- 遠方の方で、今回の学会に興味を持たれていた方もおりました。ぜひいつか、オンラインでの参加(視聴)の機会もあるといいのではと思いました。
- 学会と大学生とのコラボレーション(共同研究などでできても、面白いと思います)
- クリストファー小学校やこども園の先生方の日頃の実践研究の発表が多くなっていくことを期待したい。気楽に研究交流でき、互いに高め合えるような学会になっていくことを望みたい。また、近隣の学校や園の先生方にも少しずつ広がっていくような取り組みも期待したい。
- インクルーシブ保育にかかわる書物や実践の多くは「異年齢」や「縦割り」というワードが出てきます。しかし、IB では学年別カリキュラムをもとに実践をするので、大きな発達差がある場合難しさを感じています。まだまだ学ぶことは多くあるな！という感想です。
- 光男先生の発表の場をしっかりとつくるいいのではと思いました。
- 今回のように教師という職種に限らず、教育に関する様々な方のお話を聞けたら嬉しいです。
- 分科会とシンポジウムのために、発表者・シンポジストが関連付ける必要があるトピック(専門的な内容)があればいいと思います。たとえば「教育リーダーシップ」「方法論」「アセスメント」「教育政策」「ビジュアル教育心理学」等々

- 在校生の参加と交流が増えると嬉しいです。
- 国際バカロレア教育などの講座や研修会・ワークショップなどの開催を期待します。また、オンラインによる開催方法をとることで、全国のみなさんが参加できるので検討をお願いしたいです。

# 学会費未納のみなさんへ

当学会への入会お申し込みをされた方の中で、まだ本年度会費が振り込まれていない方がおられます。今一度、学会費をご確認いただき、振り込んでいただけますようお願いいたします。なお、不明な点などあればいつでもご連絡ください。また、入会の手続きはしたものの取り消し・退会をしたいという方は、下記アドレスまでメールにてその旨ご連絡ください。

## ■学会費 振込先

金融機関名:遠州信用金庫  
支店名:中川支店(店番:020)  
預金種目:普通 口座番号:0178045  
口座名:聖隷クリストファー大学国際教育学会 会計 杉山沙旺美  
問合せ先:学会事務局 [kokusai-gakkai@seirei.ac.jp](mailto:kokusai-gakkai@seirei.ac.jp)

# 学会誌投稿 エントリーを！ 実践報告や研究論文など 募集します。

本学会の研究誌『聖隷国際教育研究』第1号への投稿エントリーを受け付けます。上記の学会事務局まで、投稿者名(所属)・原稿の種類・タイトル(仮で構いません)をメールでお知らせください。エントリー締め切りは11月末です。詳しくは別添の投稿規約をご確認ください。